

2024 年度（令和 6 年度）
ケーブルテレビ結城・筑西 放送番組審議会
議事録

3. 委員の出席 審議委員総数 15 名
出席委員数 14 名（随員 1 名）

須藤茂	副会長（筑西市長）
奥澤武治	委員（結城商工会議所会頭）
杉山忍	代理出席（下館商工会議所事務局長）
関口恭史	委員（筑西市商工会会長）
市村正明	委員（筑西広域市町村圏事務組合消防本部消防長）
川津修	委員（北つくば農業協同組合代表理事組合長）
齋藤昌徳	委員（結城市自治協力員連合会会長）
鈴木親男	委員（筑西市自治会連合会会長）
江連秀子	代理出席（ゆうき女性会議副代表）
後藤すい子	委員（筑西市地域女性団体連絡会会長）
滝田昌孝	委員（結城市私立幼稚園・認定こども園連合会会長）
荒井幸恵	委員（結城市保育連絡会会長）
松居万寿代	委員（筑西市私立幼稚園協会代表）
新井平一	委員（筑西市保育研究会会長）

高田光浩	(代表取締役社長)
石内誠	(結城センター／筑西センター局長)
今泉勉	(コンテンツ部地域プロモーション課課長)
今泉加予	(コンテンツ部地域プロモーション課係長)
渡辺敏彦	(コンテンツ部地域プロモーション課主任)
宇野桃子	(コンテンツ部地域プロモーション課)

4. 報告事項

【全体】

- (1) 新委員の委嘱に関する報告
- (2) 放送エリア及び加入状況に関する報告
- (3) ケーブルテレビ株式会社の取り組みに関する報告
- (4) 前回の審議会での指摘・進捗報告

質問・回答

特になし

【コミュニティチャンネル関連】

- (1) 2024 年度の取り組み
- (2) チャンネル構成
- (3) 主なレギュラー番組
- (4) 主な特別番組

質問・回答

特になし

5. 議事

- (1) ご視聴番組に対しての意見・質問

■「いばらき HOT ステーション 中継：明日開催！桑の実摘み体験交流会」

【委員】中継をするならジャムを作る所まで放送して欲しい。

【委員】ジャムの話をするなら糖度も伝えて欲しい。

【CATV】桑の実を食べるシーンは映したがジャムの作り方を伝える事で、
見ている方がどのような事に興味を持っているのかを感じ、
視聴者の立場に立った番組作りをしていく。

■「いばらき HOT ステーション ケーブルテレビ ハイハイレース in 結城」

【委員】ケーブルテレビらしい企画だと思う。他の民放放送局では出来ない事。
男女のスタッフの割合はどのくらいか。

【委員】親の思い通りには動かない赤ちゃんの姿が良かった。

【CATV】社員は 200 人ほど。比率はほぼ半々くらい。女性でも働きやすい職場。
ハイハイレースの企画は男性スタッフから上がった。

ハイハイの期間は短いのでその場면을映像に残したいとの想いで制作。

【委員】ハイハイレースの企画、発想が男性スタッフから出た事が嬉しい。

■「いばらき HOT ステーション 板谷波山記念館の石碑に和歌発見」

【委員】隣に文字を書くのも良いが、石碑自体にどのような字体で書かれているかが知りたかった。

■「いばらき HOT ステーション 明野五葉学園 初の運動会」

【委員】沢山の児童、生徒が出た運動会の様子を涙ながらに見ていた。
明野五葉学園が出来てから子供たちが元気になったように感じる。
自分にとって生涯の思い出になった運動会で、その映像は本当に心に残った。

■「花火鑑賞士による花火の見方講座 ～ちくせい花火大会 2023 を振り返りながら～」

【委員】非常にわかりやすく、花火の作り方が良く分かった。

【委員】花火を制作する所や花火制作の苦労が伝わった。

【CATV】花火について知らずに花火を見るのと、花火について知ったうえで見るのでは違いがある。
少し変わった形での放送になったが、ご好評を頂けて良かった。

■「23 歳、結城に帰る～好きから始まる町おこし～」

【委員】古い結城の町並みもテレビを見るとまた違った趣があると感じた。

【委員】元気な女性が居ると、地域は活気づく。

【CATV】本番組は女性スタッフが1人で全て制作。元々はニュース番組取材による出会いで、その人柄に魅力を感じて制作に至った。

(2) コミュニティチャンネルに関する意見・感想

【委員】議会の一般質問中継により、市民が市政に関心を持ち始めている。
議員の方にとっても、中継があることで質問に弾みがつくのでは。

【CATV】議会でどのような事を発言しているかを知って頂く事で市民の皆様の関心を得る事が出来る。市および議員の方々のご理解があつての放送。ありがたく感じる。

【委員】議会の一般質問のカメラの画角は定点か。
カメラを動かし全体を見せる事などは出来るか。

【CATV】撮影しているカメラについては、議会事務局で操作しているもの。

質問の合間などで万遍なく議員の皆さんが映るように、議会事務局と協議を行う。

【委員】災害時には特にケーブルテレビの放送が大切。

【委員】ケーブルテレビの契約を増やすためにどうすれば良いか。

【CATV】コミュニティチャンネルの充実はもちろん、その存在の周知をしていく必要がある。時には市の広報誌などにも協力してもらうなど、市民に興味を持ってもらえるよう、行政の皆様と話し合いを進め、出来る範囲での協力を頂けるとありがたい。

【委員】CATV 加入率について具体的に本年度目標の加入率は何パーセントか、地域ごとや全体として設定されているのか。また、その設定についての達成率がクリアされているのか、未達なのかを教えて欲しい。

【CATV】毎年地域ごとに加入目標を立てている。加入率の低い所を重視しており、3割未満の所には営業スタッフを多く派遣している。

結城市においては2.8パーセントのアップ、筑西市では0.9パーセントのアップで、若干筑西市の伸び率が少ない。

一度力を入れて営業をした地域は少し期間を空けており、筑西市は前年度注力したため、今年度は少ない傾向。開局時期の違いも、各地域の加入率の差となっている。営業スタッフの人手不足も課題。全体の利用者率は目標達成。今後丁寧に営業活動を実施していく。

■欠席した委員からのご意見を共有

(1) 視聴した番組への意見

視聴させて頂いた番組は地域の魅力を再発見する機会になった。

ケーブルテレビは地域密着型のニュースを届けるメディアとして利用拡大が期待される。

(2) コミュニティチャンネル全体への意見

ケーブルテレビは地域密着の情報インフラであり、災害時には緊急放送する事や、市民と行政をつなぐ架け橋としての機能もある。

コミュニティチャンネルを通じて市民の声を届ける事が出来る。

今後はデジタル化の進展に伴い、より多くの住民に情報を届ける工夫が必要。

市民参加型の番組づくりや、多様な世代に向けたコンテンツの制作を。

【CATV】今回委員の皆様からいただいたご意見ご要望に向き合いながら
番組制作を進めていきます。市民参加の番組作りや、
イベントの参加者増に寄与する番組の制作など、
来年より良くなったといって頂けるように制作スタッフにも共有し、
よりよい番組を放送していけるよう努めて参ります。

以上